

●実務経験のある教員等による授業科目

音響・照明科

PA音響エンジニアコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の回数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務Ⅰ	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習		-
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習		-
専門科目	音楽基礎理論Ⅰ	18		必修	講義		-
	音楽基礎理論Ⅱ		20	必修	講義		-
	ポピュラー楽器基礎学Ⅰ	20		必修	講義	○	20
	ポピュラー楽器基礎学Ⅱ		18	必修	講義	○	18
	DAW実習Ⅰ	20		必修	実習	○	20
	DAW実習Ⅱ		38	必修	実習		-
	舞台機構調整技能Ⅰ	46		必修	実習	○	46
	舞台機構調整技能Ⅱ		18	必修	実習	○	18
	PA音響実習Ⅰ	76		必修	実習	○	76
	PA音響実習Ⅱ		76	必修	実習	○	76
	照明基礎知識	18		必修	講義	○	18
	照明実習Ⅰ	18		必修	実習	○	18
	映像機器基礎	20		必修	講義	○	20
	ライブパフォーマンス実習		20	必修	実習		-
	レコーディング実習		38	必修	実習	○	38
	機材メンテナンス実習	19	19	必修	実習	○	38
	イベント実習	38	38	必修	実習	○	76
合計	総授業時間数	964					
合計	総授業時間数		851				合計
	卒業時最少時間		1815				558

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2019年度例) エイバックス・エンタテインメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、oricon ME、株式会社エイスリー 等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	93 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む                  基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(こは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。                  検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マンダラートシート」の作成 就職志望:Ⅰ【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンダラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンダラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作法の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:Ⅱ【目標設定と計画、自覚】「マンダラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用)
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	45
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業			実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	38	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。          科目数は毎年約30科目ほどである。          各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による
成績評価	<p>※各科目によって異なる</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。                  アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。                  音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」                  映像系企業「MAD PRODUCTION」                  ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」「A-STAR artist actors studio」 等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」「A-STAR artist actors studio」等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」「A-STAR artist actors studio」等

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B			実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	305	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」「A-STAR artist actors studio」等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音楽基礎理論 I		実務授業の有無	×
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	<p>舞台機構調整技能士3級(国家試験)のための対策として行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器についての知識(弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、雅楽、民族楽器)</li> </ul> <p>※音と名前と写真の一致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシック、日本の有名作曲家、代表楽曲を知る</li> </ul>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業説明 「舞台機構調整技能士」とは。試験概要、合格ライン、必要な知識・技術の説明 授業開始時の学生のレベルを知るためのミニテスト実施
2	弦楽器について
3	管楽器について
4	打楽器について・鍵盤楽器について
5	雅楽・民族楽器について
6	クラシック音楽代表作について
7	日本の作曲家について
8	模擬テスト
9	模擬テスト

教科書等	公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」
成績評価	授業態度および学習意欲20%、テスト成績30%、検定合否50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	基礎音楽理論Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	<p>PA音響エンジニアを目指す学生に向け、楽典の知識や音楽理論の基礎を学習してもらうための、講義形式の教養授業である。五線、小節、音部記号、音符、拍子・拍子記号、休符、速度記号、強弱記号、反復記号、音符の略記、奏法に関する記号と用語、音名、音程、調と音階など楽典の基礎的内容を取り扱う。また、ポピュラー音楽の1つの理論的テーマであるコード進行論への導入として和音・コードの基礎知識についても言及する。理解を深めるため、適宜問題演習や実際の音や譜面進行の確認をしてもらう。習最終回に筆記考査を行う。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、ガイダンス 五線譜と小節・音部記号
2	音符と休符／拍子・拍子記号
3	速度記号／強弱記号
4	反復記号と譜面進行
5	音符の略記法／奏法に関する記号(略語)
6	音名／音程①
7	音程②／調と音階
8	コード進行理論への導入:和音(コード)
9	ダイアトニックコードとコードの機能
10	期末考査

教科書等	なし
成績評価	<p>期末筆記考査70%、授業態度および学習意欲30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ポピュラー楽器基礎学 I		実務授業の有無	○
担当講師	中野 大輔		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	20 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	<p>バンド等で使用する各楽器(ドラム、ベース、ギター等)の理解度を深め、率先して機材セッティングを行えるように指導していく。 また、機材トラブル等に即座に対応できる知識を身につける。 (この科目は、1年PA音響エンジニアコースと2年照明エンジニアコース合同で行う)</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	■イントロダクション 主要楽器(ドラム・ギター・ベース・キーボード)の紹介
2	■ドラムセット 各パーツの名称・セッティング方法
3	■ドラムセット セッティング実践
4	■ドラムセット セッティング実践
5	■ギター・ベース 各楽器の特性(メーカー・ボディの種類・音色等)
6	■ギターアンプ・ベースアンプ アンプの種類・接続方法等
7	■キーボード 電子ピアノとシンセサイザーの違い・音色・接続方法等
8	■各楽器のおさらい セッティング・接続方法等を確認
9	■各楽器のおさらい セッティング・接続方法等を確認
10	■各楽器のセッティング ドラム・ギター・ベース・キーボードのセッティング実践

教科書等	なし
成績評価	最終授業での実践割合50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	秋葉区初の音楽スタジオ「中野スタジオ」オーナー 2015年 Niigata KENTO'S Bandのドラマーに就任 PA音響・ドラム講師・楽曲制作・レコーディングエンジニア等多岐に渡り活動中

# SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ポピュラー楽器基礎学Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	中野 大輔		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	バンド等で使用する各楽器(ドラム、ベース、ギター等)の理解度を深め、率先して機材セッティングを行えるように指導していく。 また、機材トラブル等に即座に対応できる知識を身につける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	■イントロダクション 各楽器のセッティング方法を再度復習
2	■ドラム ドラムセットメーカー・シンバルメーカーの紹介、音色の違い
3	■ドラム チューニング方法、ドラムヘッド交換等
4	■ギター ギターについての各トラブルシューティング
5	■ギター ギター弦の交換方法
6	■ベース ベースについての各トラブルシューティング
7	■キーボード キーボードメーカー紹介・メーカー別の特徴
8	■その他の楽器 DJ・サンプラー等の楽器紹介
9	■セッティング実践 メーカー名・楽器名称を指定してセッティングを実践

教科書等	なし
成績評価	最終授業での実践度合50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	秋葉区初の音楽スタジオ「中野スタジオ」オーナー 2015年 Niigata KENTO'S Bandのドラマーに就任 PA音響・ドラム講師・楽曲制作・レコーディングエンジニア等多岐に渡り活動中

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	DAW実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	20 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース／照明エンジニアコース

授業概要	音響操作の中で、編集した音源が必要な場合や、楽曲を聞き込むうえで波形で見ながら再生するなど活用さまざまな活用方法の出来るDAWを使い、簡単な編集が行えるようになることを目的とする。この科目では各自のパソコンにAvid「Pro Tools   First」(Windowsの場合はASIO4ALL)をインストールし、授業外での個人使用も出来るようににする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明 DAWとは／Pro Toolsと他のDAWとの違い／Pro Toolsの種類 Pro Tools First、ASIO4ALLのセットアップ確認
2	起動～新規作成(クラウドバックアップは使用しない)／新規トラック作成・削除／音源データのインポート／編集・ミックス ウィンドウ／再生・停止／「挿入位置は再生に従う」(Nキー)説明／英語・日本語入力について／終了の仕方
3	トラック名／簡単なミックスウインドウ操作(ボリュームフェーダー／ソロ／ミュート) 編集ウインドウにおいて:クリップとは／時間軸の拡大・縮小／トラックの高さ・名前・色(クリップも)
4	編集ツール(セレクト／グラバー／トリム／スマート)／編集モード(スリップ／グリッド／シャッフル)／ショートカット:取り消し／やり直し／頭に戻る／カット／コピー／ペースト／クリップを分割／複製／繰り返し
5	楽曲の編集練習(短くする・ループする・フェードイン・フェードアウト・2曲のクロスフェード)① マーカー(メモリーロケーション)について
6	楽曲の編集練習(短くする・ループする・フェードイン・フェードアウト・2曲のクロスフェード)② 編集ウインドウのスクロールについて
7	エラスティックオーディオについて(オン・オフ／リアルタイムとレンダーの違い)／拍子とテンポの設定／タップテンポ／エラスティックを使ったテンポの変更
8	楽曲の編集練習(テンポを合わせての編集)① ループプレイバックについて
9	楽曲の編集練習(テンポを合わせての編集)② オーディオミックスのエクスポートについて
10	期末課題／提出

教科書等	教材は特になし。 各自パソコンとイヤホン(又はヘッドホン)を持ち込んで行う (各自Pro Tools Firstをインストール、Windowsの場合ASIO4ALLもインストールしておく)
成績評価	授業態度および学習意欲50%、作品クオリティ50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ピアノ&ヴォーカルユニット「Cacis」のピアニスト・作曲家として新潟県を中心に13年活動中。 Pro Toolsを使用した作曲、編集、録音等も行う。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	DAW実習Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	金 相範		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	1年次「DAW実習Ⅰ」で学んだPro Toolsの知識を活かし、各自Pro Tools Firstのインストールされたパソコン（イヤホンも用意）を使いながら、さらなる編集とミックス、打ち込みについて学んでいく。この授業の目標は、Pro Toolsの基本的な操作を知り、さらにはPA音響におけるミックスの練習としてDAWを使うことが出来るようになることとする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	この授業の目的説明（Pro Toolsでどんなことが出来るのか）、楽曲の取り込み・セッション作成 新規トラック（Mono・Stereo／オーディオトラック・Aux入力・マスターフェーダー）、プラグインとは
2	プラグインをインサートを使用してみる／各プラグインの説明／Aux入力トラック／Bus／センド／ソロセーフ
3	マルチトラックの音源を使用し、実際にEQ、Dynamics、Reverb、Delayをかけての音作り①
4	マルチトラックの音源を使用し、実際にEQ、Dynamics、Reverb、Delayをかけての音作り②
5	オートメーションを書いてみる（編集ウィンドウのトラックビューの変更からのオートメーション／ フェーダー・パンポット等を使用してのオートメーション
6	プリ・ポストロールについて、マスターフェーダーについて、Aux入力トラックを使ったサブマスターの作成
7	前期課題：マルチトラックのミックス（EQ、Dynamics、Reverbをそれぞれ1つ以上使用、オートメーションも使用）①
8	前期課題：マルチトラックのミックス（EQ、Dynamics、Reverbをそれぞれ1つ以上使用、オートメーションも使用）②
9	前期課題：マルチトラックのミックス（EQ、Dynamics、Reverbをそれぞれ1つ以上使用、オートメーションも使用）③ オーディオミックスをエクスポートし提出
10	オートメーションを使った楽曲の編集：リバーブで飛ばす、ディレイで飛ばす、プラグインのバイパスオートメーション、 プラグインのパラメーターのオートメーション
11	打ち込みとは／MIDIについて／Xpand!を使っでの打ち込み
12	Xpand!を使っでの打ち込み①
13	Xpand!を使っでの打ち込み②
14	Xpand!を使っでの打ち込み③
15	Xpand!を使っでの打ち込み④
16	Xpand!を使っでの打ち込み⑤
17	後期課題：オーディオトラックに対し指定のパターンの打ち込みをし、ミックスを完成させる①
18	後期課題：オーディオトラックに対し指定のパターンの打ち込みをし、ミックスを完成させる②
19	後期課題：オーディオトラックに対し指定のパターンの打ち込みをし、ミックスを完成させる③ オーディオミックスをエクスポートし提出

教科書等	教科書は使用せず、毎回セッションファイルやプリントなどを配布する。
成績評価	課題レポート提出50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	舞台機構調整技能Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	46 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	<p>前期は舞台音響調整技能士3級取得を目指す。試験問題解集に基づいて学科試験、実技試験(制作等作業試験)、実技試験(判断等試験)の対策を行いながら音響、照明、舞台の知識を身に付ける。</p> <p>後期は学生自身が制作、オペレート、出演するLIVEを実施。校内の備品を使いながら実習を中心に行い進める。生徒にはそれぞれの作業を経験してもらい、お互いどのような気持ちや考え方でやっているか理解してもらいイメージを共有することも目的である。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【イントロダクション】舞台機構調整技能士3級試験について
2	学科試験対策(1. 舞台一般)
3	学科試験対策(2. 音響機構調整法)
4	学科試験対策(2. 音響機構調整法)
5	学科試験対策(4. 関係法規、5. 安全衛生)
6	実技試験(判断等試験)対策(楽曲・作曲家問題、楽器問題については除く)
7	実技試験(制作等作業試験)対策
8	実技試験(制作等作業試験)対策
9	まとめ(不足箇所重点)
10	学科試験対策(ふりかえり～過去問題)
11	学科試験対策(過去問題)
12	1人ずつ制作等作業試験のテストを行いながら、グループごとに判断等試験のテストを行う
13	1人ずつ制作等作業試験のテストを行いながら、グループごとに判断等試験のテストを行う
14	音響基礎① モニター環境を整えてみよう(モニターから音を出してステージの中音を作る)
15	音響基礎② 基本的なバンドのセッティングを仕込もう(結線、回線チェック、マイキング等)
16	照明基礎① 基礎実習(機材説明、シュート、オペレート)
17	楽器の使い方 ギターアンプやベースアンプ等の説明 ドラムセットの名称や組み方 資料説明 セット図、タイムテーブル、回線表等の解説
18	LIVE発表に向けてミーティング 役割分担決めやセット図、タイムテーブル、回線表等の資料作成
19	リハーサル① LIVE発表に向けてリハーサル
20	リハーサル② LIVE発表に向けてリハーサル
21	LIVE発表① 作成したタイムテーブル通りに、仕込み→リハ→本番→バラシの一連の流れをやってみる
22	LIVE発表② 前回と同じことを別の役割で再度行う
23	1年まとめ 感想レポートと授業アンケート

教科書等	公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」
成績評価	<p>前期:試験結果:60%(学科30%、実技30%)、授業態度および学習意欲40%</p> <p>後期:技能予習・復習による課題クリア70%、授業態度および学習意欲30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	舞台機構調整技能Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	1年次の復習と共に、さらに舞台機構の深い知識の習得、そこに関わるスタッフ、主に舞台監督の仕事について学ぶ。舞台機構調整技能士2級試験についての内容にも触れ、3級合格した者が今後(将来)受験できるように説明もし、深い知識の習得を目的とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、1年次の「舞台機構調整技能Ⅰ」振り返り～舞台の種類、ホール構造などについて
2	幕・道具などについて
3	舞台の床について
4	図面について
5	舞台制作におけるスタッフと役割について
6	ホールのシステム、区分、禁止行為解除等について
7	舞台機構調整技能士2級試験の内容について①
8	舞台機構調整技能士2級試験の内容について②
9	テスト

教科書等	公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」(参考:株式会社レクライム社「舞台技術入門新シリーズ2 舞台づくりの基本から仕掛けのテクニックまで 舞台監督の仕事」)
成績評価	テスト結果:60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PA音響実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	富樫 武志		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	76 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニア

授業概要	基本的な機材の取り扱いと音響システムの概要を理解し、簡易音響セットの仕込みをできるようにすることを目標とする。実際に現場で使用する機材、資料等を使用し即戦力になるような知識、技術を身に着ける。現場で想定される音響以外の要素との連携を意識し、イベント実習やインターンでの対応力を身に着ける。(前期はPA音響エンジニアコース・照明エンジニアコース合同授業、後期はPA音響エンジニアコースのみの授業とする)
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	学校内のライブハウスでの音響セットの仕込み方 ①音源で疑似ライブのミキシングを行い学生生活の最終的な目標を確認する ②1年次の目標の簡易音響セットを組んで見せ一年の目標を確認する ③主な用語の解説
2	音響機材の扱い方について学ぶ ①ケーブルの巻き方、スタンドの立て方を学習する ②機材を扱うにあたっての注意点の説明
3	電気信号の流れについて学ぶ ①マイクレベル、ラインレベル、スピーカーレベルの考え方について学習 ②機材のインプット、アウトプットについて学習 ③SHOWCASEでの音の出し方を理解する
4	音響機材の名称、役割を学ぶ ①マイクロフォンの構造・特性について学習 ②ミキサー、グラフィックイコライザー、パワーアンプの役割について学習
5	PAシステムの概要を学習 SHOWCASE!!と簡易音響システムの概要を学習し、信号の流れと各段階での電気信号の違いを理解する
6	モニターについて学習 モニタースピーカーを使用してサービスエリアごとに適したモニタリングについて学習する
7	ミキサーについて学習 ①M7CL-32を使用して各機能を学習 ②アナログミキサーを使用して各機能を学習
8	カラオケステージをつくる 簡易音響セットでのカラオケ演奏を想定した仕込み、オペレーションを通して一連の作業を理解する
9	<評価週> 実技テストとして簡易PAシステムの仕込みを行う
10	スピーカーのチューニングについて学習 ハウススピーカーとモニタースピーカーのチューニングについて学習
11	空間系エフェクターについて学習 リヴァーブ・ディレイのパラメーターを調整し効果を確認する
12	ダイナミクス系エフェクターについて学習 コンプレッサー・ノイズゲートのパラメーターを調整し効果を確認する
13	モニター分岐システムについて学習 実際にシステムを仕込み、ハウス・モニター間の連携についても理解する
14	ワイヤレスマイクの取り扱いについて学習 ①使用される電波の種類について学習 ②機器の仕込みについての注意点、ピンマイク等の仕込みについて学習
15	楽器等に対するマイクアレンジと音作りを学習 ①楽器とマイクの特徴を理解しそれぞれに適したマイクアレンジを学習 ②EQ,ダイナミクス処理など積極的な音作りを学習
16	転換を含むイベント形式の進行を学習 ①様々な演目の転換を想定したプランニングと仕込みを学習 ②進行台本に沿ってPA転換の留意点を学習
17	簡易音響セットの仕込みを復習
18	Live House「SHOW!CASE!!」の仕込みを復習
19	<評価週> 簡易音響セットの仕込みとマルチトラック演奏のミキシングを実技試験とする

PA音響エンジニアコース・照明エンジニアコース合同

PA音響エンジニアコースのみ対象

教科書等	リットーミュージック「PA入門 基礎が身に付くPAの教科書」 必要に応じて補足テキスト等を配布する
成績評価	評価週の試験50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2011年 株式会社サウンドエイトに入社し、PA音響エンジニアとして活躍

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PA音響実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	熊倉 潤一		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	76 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	<p>学内ライブスペースのシステムを通じて音響システムのプランニング、技術セクションとしての作業の流れ、PAオペレーターが行う音声処理、PA現場で必要とされる現場進行・トラブル対処等についての実習を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規模に応じたPAプランの作成ができる</li> <li>・PAオペレートに必要な音声処理・ミキシングの手順を把握</li> <li>・実地の状況に応じた全体的視野、役割分担、時間配分、トラブルへの対応力以上の能力を身に付けることを目標とします</li> </ul>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【さまざまな音響システムについて学習する】 SHOW!CASE!!、Practice、柳都SHOW!CASE!!の音響システムを学習する アナログ、デジタルの違いを理解し、それぞれの良いところ、悪いところを考える 現在の電気音響、DANTEやMADIなどの、音声のデジタル伝送について学習
2	【デジタル・オーディオ・ネットワークおよびデジタル・ミキサーについて学習】 柳都SHOW! CASE!!の音響システムをつかってデジタルネットワークおよびミキサーの接続と基本操作を理解する
3	【音響プランニング②】 学内施設等の機材のスペックを調べ、みあった機材の選定について考える
4	【音響プランニング②】 学校の機材をつかって野外ステージの音響システムをプランニングする それぞれ発表し良い所、悪い所について話し合う
5	【音響プランニング③】 学校の機材をつかって野外ステージの音響システムをプランニングする 前回の実習の反省をふまえ、より実用的なプランを構築する
6	【現場を想定した動きを学習する】 実地イベントを想定したタイムスケジュールを用い、照明や楽器などの他セクションの動きを確認しながら 設営・チェックを行う
7	【実践的な音質補正・ミキシングを学習する①】 実地での時間配分を意識し、生楽器(バンド)の收音・補正・加工等、一連の処理とミキシングを復習する
8	【実践的な音質補正・ミキシングを学習する②】 PAオペレーター主導での進行等、演奏者・各セクションを意識したリハーサルの流れとともに 音質補正とミキシングを行う
9	<評価週> あらかじめ用意されたプランを用い、設営～リハーサルまでの流れについての実技テストを行う
10	【前期の復習】 学内の機材についての筆記テストを実施する
11	【トラブルシューティング】 現場で想定されるトラブルへの対応を学習する 機材のメンテナンス等、トラブルを防ぐ、発見する等の注意点を学習する
12	【ステージアシスタントとしての動き①】 リハーサルの進め方、舞台転換の注意点などを学習する
13	【ステージアシスタントとしての動き②】 フェス型イベントの舞台転換等を学習する
14	【PA実践①】 事前に録音された演奏データを用いミキシング、音質補正について復習する
15	【PA実践②】 生バンドによる演奏での客席内、ステージ上のミキシング、音質補正について復習する
16	【PA実践③】 邦楽、演劇、スピーチ等を想定したプラン、台本等を用いて様々なPA現場を学習する
17	【PA実践④】 邦楽、演劇、スピーチ等を想定したプラン、台本等を用いて様々なPA現場を学習する
18	【グランドコンサートにむけて】 グランドコンサートについて前年の資料をもとにプランを仮想する 今年度のグランドコンサートに関するディスカッション
19	<評価週> トラブルシューティング、ミキサーの基本・応用操作についての実技テストを行う

教科書等	リットーミュージック「PA入門 基礎が身に付くPAの教科書」 必要に応じて補足テキスト等を配布する
成績評価	評価週の実技試験50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2000年より Live House「Club Junk Box」にてPA音響オペレーター、フッキング、マネージャーを担当、2010年よりLive House「GOLDEN PIGS」にて店長を担当 2013年より株式会社サウンドエイトに入社し、新潟市秋葉区文化会館で舞台課主任を担当、2017年より新潟LOTSでP音響を担当

# SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	照明基礎知識		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 良広		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	<p>教科書「舞台・テレビジョン照明 基礎編」をもとに照明の基礎を学ぶ。 2年間で以下のことを学ぶ。 オペレートに主眼がいているライヴハウスにおけるトラブルの場合それを処理できないことも多い。この授業はスポット・回路・調光システム・カラー等の基礎を学びそれらを知ることにより、正しい使用方法・トラブルに対する方法を理解する。(前期は、舞台に関する仕事に就こうとする照明エンジニアコース・PA音響エンジニアコースの生徒に知っておくべき用語の基礎から教える。後期は照明エンジニアコースの生徒のみ。)</p>
------	---

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など		
1	XIV 舞台用語	照明に関する用語	P185～P192
2	XIV 舞台用語	舞台・美術に関する用語	P185～P192
3	XIV 舞台用語	公演・演出に関する用語	P185～P192
4	IV 1. 舞台機構	1) 舞台の平面と断面	P35～P38
5	"	5) 舞台吊物機構 ①幕類用吊物設備	P38～P40
6	"	" "	P38～P40
7	"	" ②照明用吊物設備	P40～P42
8	"	6) 舞台床機構	P42P～P45
9	2. 舞台照明設備		P46～P50

教科書等	舞台・テレビジョン照明 基礎編(発行:日本照明家協会)
成績評価	<p>範囲内の筆記試験 70%、授業態度および学習態度・知識欲・主体性30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>1972年より照明エンジニアとして活躍 現在新潟照明技研株式会社 専務取締役 舞台・テレビジョン照明技術者1級技能認定 公益社団法人日本照明家協会 東京支部 運営委員</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	照明実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 良広		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	照明操作卓(調光卓)、スポット、ケーブル等に親しみ、その操作方法・扱い方を学びながら、舞台照明そのものを学ぶ。基本になるのは安全である。(照明エンジニアコース・PA音響エンジニアコース対象)
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Studio「Practice」の説明 吊り込み用器具：安全にスポットを吊り込むために、ハンガーに親しむ
2	レンズによる光の質の違いをみる
3	Practiceに設備されている機材の説明
4	Practiceの調光卓(Express 48/96) / ユニット / 回路の説明
5	サブマスタに シーン/チェイス記憶 ・修正を習得する
6	”
7	”
8	平凸・フレネルレンズを使用したスポットライトを使い光軸調整を習得する
9	舞台・テレビジョン照明現場において使用されるカラーフィルターを覚えよう

教科書等	無し
成績評価	前期：美しい光を得るため、平凸レンズ・フレネルレンズを使用したスポットライトでの、光軸調整の成果をみる／後期：調光卓(Eexpress 48/96)のサブマスターに、シーン/チェイスを記憶できること、修正できること、以上2点を見る 50% 前期後期ともに：授業態度および学習意欲・主体性 50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1972年より照明エンジニアとして活躍 現在新潟照明技研株式会社 専務取締役 舞台・テレビジョン照明技術者1級技能認定 公益社団法人日本照明家協会 東京支部 運営委員

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	映像機器基礎		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	20 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	全コース

授業概要	音響・照明だけでなく映像機器の接続や再生に関わる知識を身に付けることを目的とする。例えばホテルの宴会場やホール等で、講演会や披露宴などが行われた際の機器の接続、持ち込みメディアの対応、パソコンの接続(ファイル形式等の対応)、映像投影機器の調整など作業が音響・照明スタッフが行うこともあるため、このような授業を設ける。また、映像と共にある音声についても触れていく。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション:音響・照明と映像のかかわり、現代の映像について 映像の解像度とフレーム数、アスペクト比について
2	音声メディアと、映像メディア、テープの仕組み、ディスクの仕組みについて コピー防止のための仕組み、「-R」、「-RW」等について
3	アナログ/デジタル音声伝送方法とアナログ/デジタル映像伝送方法 クロック、同期、ジッタについて
4	映像レーテンシーについて(ビデオカメラを使っての実習) 映像切り替えについて(スイッチャーを使った実習)、クロマキー、Pict in Pictなどの特殊効果について
5	パソコン等でのファイル形式について(音声・映像) 非圧縮・ロスシー圧縮・ロスレス圧縮について
6	サラウンド音声、イマーシブ・オーディオについて
7	サラウンド実習(サラウンドシステムを組み、映画等を比較してみる)
8	接続実習(Win, Mac, DVD等をプロジェクタ、モニター等へ接続してみる) プロジェクタ、モニター等の設定等も
9	PC接続:インターフェイス、USB、Thunderbolt等について
10	まとめ / 筆記テスト

教科書等	無し。
成績評価	筆記テスト60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブパフォーマンス実習		実務授業の有無	○
担当講師	李 玗承		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場で実践力を養う</li> <li>・人脈を増やす</li> <li>・アーティストと関わりよりいい音作りにつなげる</li> <li>・メンタル面強化</li> <li>※ヴォーカル科学生と合同授業</li> </ul>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	2学科自己紹介/PA担当決め/ヴォーカル科自由曲選曲・決定/MC台本完成/
2	練習チェック(営業セット用意、PA込み)
3	よろっtoローサ本番(PA込み)
4	反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック
5	練習チェック(営業セット用意、PA込み)
6	よろっtoローサ本番(PA込み)
7	反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック
8	練習チェック(営業セット用意、PA込み)
9	オーディション(アーティスト、PA各3組選抜)
10	よろっtoローサ本番/後期レポート提出

教科書等	使用しない
成績評価	授業態度および学習意欲80%、課題レポート提出20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2011年～市内中学校、施設、ダンススタジオにてヴォーカル指導。 2014年～東京交響楽団にいがたコーラス所属。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	レコーディング実習		実務授業の有無	○
担当講師	井上 一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	音響とレコーディングの違いを学びながら、録音に関するいろはを学ぶ。主に、マイクの種類と役割、使用方法。レコーディングの基礎知識。これらを習得して行きながら、簡単なレコーディング実習を出来るようになることを目指す。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、F7th Studioについて
2	ヴォーカルレコーディングについて①
3	ヴォーカルレコーディングについて②
4	ヴォーカルエディットについて①
5	ヴォーカルエディットについて②
6	アコースティックギターレコーディングについて①
7	アコースティックギターレコーディングについて②
8	レコーディング実習①
9	レコーディング実習②
10	前期まとめ、復習
11	後期イントロダクション
12	ドラムレコーディングについて①
13	ドラムレコーディングについて②
14	ドラムエディットについて
15	レコーディング実習③
16	レコーディング実習④
17	レコーディング実習⑤
18	レコーディング実習⑥
19	年間のまとめ、復習

教科書等	特になし
成績評価	課題に対する取り組み80%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1987年～2003年、Studio TAKEONEにてアシスタントエンジニアとして勤務 2003年、故郷新潟にレコーディングスタジオを開設。2006年、株式会社エストラライブ設立～代表取締役。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	機材メンテナンス実習		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	全コース

授業概要	校内の機材の管理方法、メンテナンス方法について教えながら授業等で使用している機材のメンテナンスを実際に行っていく。グループを組み、グループごとにそれぞれ作業を行い、1・2年の交流も目的とする。並行してSHOW!音楽エンタテインメントゼミの仕込み作業をしながら班を分けて作業を行っていく。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション：校内機材の扱い・管理について グループ組み SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
2	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
3	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
4	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
5	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
6	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
7	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
8	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
9	機材管理・メンテナンス状況まとめ、提出 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
10	機材管理・メンテナンス作業 グループ組み SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
11	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
12	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
13	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
14	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
15	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
16	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
17	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
18	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
19	機材管理・メンテナンス状況まとめ、提出 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業

教科書等	無し。
成績評価	前期：試験結果：60%(学科30%、実技30%)、授業態度および学習意欲40% 後期：技能予習・復習による課題クリア70%、授業態度および学習意欲30%  成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント実習		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	全コース

授業概要	オープンキャンパスの準備・リハーサルから本番・撤収を実習内容としながら、インターンシップ等への参加も単位として認め、音響・照明の様々なイベントを評価とする。様々なイベントへのスタッフとして参加し現場経験を多く積むことを目的とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
2	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
3	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
4	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
5	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
6	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
7	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
8	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
9	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
10	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
11	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
12	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
13	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
14	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
15	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
16	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
17	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
18	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
19	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加

教科書等	無し。
成績評価	インターンシップ参加願及びインターンシップ報告書の提出状況・記載内容、またはオープンキャンパスのスタッフとしての参加状況：100% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格